


教職員の働き方改革の実現について

1 平成30年度の取組

教職員の意識改革及び優良事例を開発
 教員の長時間労働対象者の割合 **24.8%** (前年度比1.7%減)

計画	主な実績	成果○ と 課題●												
方向性1 校務支援システムの活用推進 ・事務事業の削減 出席簿、通信表、指導要録、進路資料等の一元管理 ・インターネットによる資料検索及びデジタル教科書の活用 ・調査・統計への回答の簡略化	◇4月から校務支援システムが稼働 ◇活用推進委員会を年3回実施し、現場の声をシステムに反映させるための検討、協議を行った。 ◇ICT支援員による校内研修等を375回、要請訪問を11回実施	○校務事務処理の作業効率が上がり、負担が軽減 ⇒ 一人当たり 170時間/年 減 ●現場の教員から操作スキルの習得に対する負担感や様式の改善等について意見がでている。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>最も効果があった機能</th> <th>改善が必要だと感じた機能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1位</td> <td>指導要録の作成</td> <td>通知表の作成</td> </tr> <tr> <td>2位</td> <td>出席簿の事務処理</td> <td>テスト結果や評価の入力等</td> </tr> <tr> <td>3位</td> <td>教員同士の連絡等</td> <td>評定の算出・入力等の作成</td> </tr> </tbody> </table>		最も効果があった機能	改善が必要だと感じた機能	1位	指導要録の作成	通知表の作成	2位	出席簿の事務処理	テスト結果や評価の入力等	3位	教員同士の連絡等	評定の算出・入力等の作成
	最も効果があった機能	改善が必要だと感じた機能												
1位	指導要録の作成	通知表の作成												
2位	出席簿の事務処理	テスト結果や評価の入力等												
3位	教員同士の連絡等	評定の算出・入力等の作成												
方向性2 静岡市型部活動システムの推進 ・外部人材の活用 外部顧問、外部指導員を配置 ・静岡市部活動応援隊活動の実施 ・体育的・文化的活動の場を地域に提供	◇43校中36校が平日3日、土日どちらか1日で部活動を実施 ◇外部顧問の配置を拡充 29年度 5名→30年度 17名 ◇静岡市部活動応援隊に61社が賛同し、スポーツ教室の等を実施 ◇部活動フォーラムを開催	○外部顧問が配置された顧問教員の部活動指導に要する時間が削減され、負担が軽減(土・日・祝日に4時間以上勤務した回数が 約26.4%減) ●外部顧問に指導を委ねることを躊躇する教員がいる。  ○生徒も活動の充実を実感 「専門的な指導を受けられた」⇒ 80.3% 「工夫された練習により活動の質が向上した」⇒ 77.3%												
方向性3 教職員の意識改革と時間管理の徹底 ・日直を置かなくてもよい期間を全市一斉に8月の第3週で実施 ・管理職へのマネジメント研修を実施	◇日直を置かなくてもよい日を8月13日～8月17日で実施 ◇管理職へのマネジメント研修で時間管理の徹底についてグループワーク等を実施	○日直を置かなくてもよい日を 全129校で実施 し、年次有給休暇取得が促進 5日間の休暇取得率(推進校) 29年度 86.9%→30年度 94.2% ○「働き方改革について教職員への周知が進んでいる・やや進んでいる」と 77.2% の学校が回答 ●5日間実施した学校は80%にとどまり、20%の学校は2～4日間 ●教頭が繁忙状態で教職員の勤怠管理や指導助言が十分にできていない。 「職員への指導時間1時間未満」⇒ 76.3%												
方向性4 推進協力校の指定による研究 ・西奈小学校「働きやすい職場(環境)づくり」 ・清水第四中学校「ワークライフバランスの意識向上」 ・学校における働き方推進委員会による負担軽減可能な業務の洗い出し	◇西奈小学校：事務事業の軽減と時間外勤務の縮減の研究 ◇清水第四中学校：教職員の意識改革と出退勤管理の研究 ◇推進委員会を年3回実施し、令和2年度から全校で取り組むべき業務改善実施の方向性を検討	○職員一人ひとりの働き方改革への意識が高まった。(実践例)教育課程の見直し、定時退庁日設定、業務量削減 等 ●若手教職員への指導やサポート体制が整っていない。 ○小学校における午前5時間制など各校の好事例から効果的な取組を確認できた。 ●学校間で事例を共有できていない。 ●時間外の電話対応が学校間で異なる。												

2 令和元年度の取組

優良事例の水平展開
 教員の長時間労働者の割合 **目標22%**

主な取組
◇校務支援システムの改善 通知表等の帳票の改善、操作方法の動画マニュアルやFAQの作成 ◇安定的な運用・サポート体制の確保 ICT支援員の派遣、活用推進委員会の開催 ◇安全に運用するための対策 セキュリティ研修の実施
◆静岡市立中学校部活動ガイドラインの全面実施 (令和元年8月～) ◇外部顧問配置の拡充 平成30年度 17名 → 令和元年度 25名 ◇地域社会と協力して部活動を充実させていく更なる方策の検討
◇日直を置かなくてもよい期間の拡充 夏休みに加えて、冬期休業期間にも実施 ◆スクール・サポート・スタッフの配置 10月から大規模校9校に配置 ◇出退勤管理の全校実施 校務支援パソコンによる労務管理
◇推進協力校における研究の継続実施 西奈小学校、清水第四中学校 ◇各校の好事例を広めていく環境づくり 校務支援システムで閲覧する仕組みづくり 校長研修会等における事例紹介 時間外電話対応の環境整備

学校における働き方改革を着実に進め、教員の長時間労働を是正し、子供たちと向き合う時間や教職員の見聞を広げる時間を創出することで、働き方改革プランの目的「教育の質を高め、児童生徒の資質・能力の向上を図る」ことを実現する。